

育苗から田植えのポイント

- ◎がっちり苗に仕上げるため、「ハウスの換気」を徹底しましょう。
- ◎栽植密度 70 株/坪、植付本数 3～4 本、植付深さ 3 cm となるよう、田植機を調整しましょう。
- ◎活着後は 3 cm 程度の「浅水管理」とし、初期分けつを確保しましょう。
- ◎除草剤散布後 7 日間は「止水管理」とし、除草効果を安定させましょう。

1 ハウスの換気を徹底し、がっちり苗に仕上げよう

- ・著しい低温や荒天を除き、原則、搬出直後から昼間の換気をしましょう。遅くとも搬出後 1 週間頃から夜間も換気し、外気に慣らしましょう。
※ただし、夜温が 5℃を以下になると予想される場合は、早めにハウスをしめます。
- ・かん水は早朝にたっぷり実施し、床土が白く乾いたら適宜かん水を行いましょ。かん水が多すぎると、根の伸びが悪くなるとともに、カビ等が発生し生育を阻害する危険性があります。
※水稻育苗後のハウスで、野菜を作付けする場合、苗箱施薬剤は育苗ハウスから苗を搬出した後に施用しましょう。

硬化期の温度管理の目安

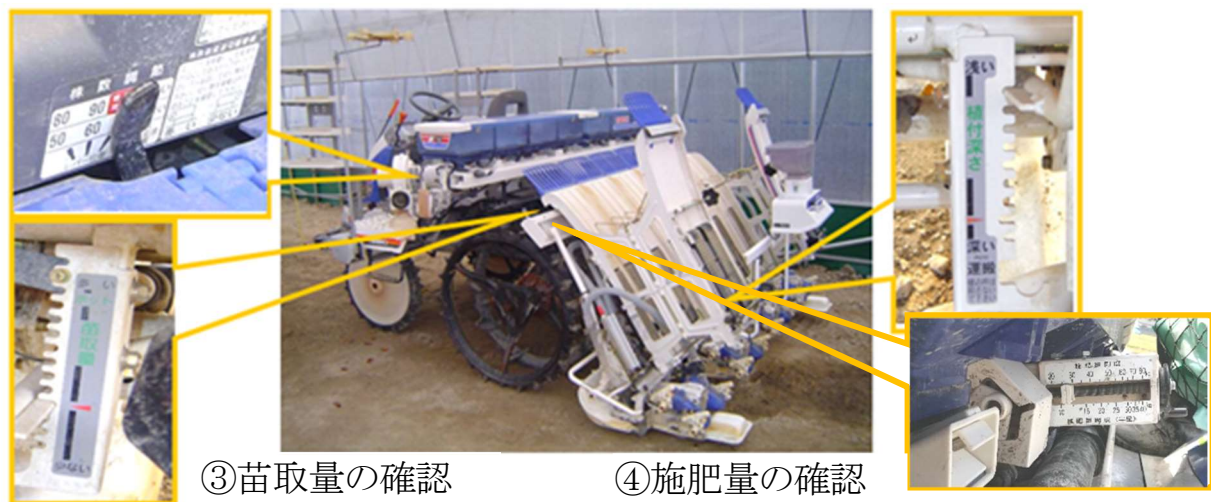
日 中	25℃以下
夜 間	10℃以上

2 「田植機の適正設定」と「水管理の徹底」で初期分けつを確保しよう

【田植機の調整力所と設定の目安】

①栽植密度の確認

②植付深さの確認



③苗取量の確認

④施肥量の確認

調整力所	設定の目安	目的
① 栽植密度レバー	70 株/坪	穂数不足の解消
② 植付深さレバー	「浅い」と「標準」の中間に下げる（目標 3 cm）	初期茎数の確保
③ 苗取りレバー	「標準」より少ない方に 2 段階下げる（目標 3～4 本/株）	茎質の向上
④ 施肥ダイヤル	品種と肥料の仮比重、土壌種類から決定する	適正施肥量の確保

ケイ酸加里入り肥料等の昨年と違う肥料を使う場合は、窒素成分量や仮比重を確認し、開度を調節してください。
また、実施の田植作業での落下量を確認しながら、必要な場合は再度調節しましょう。



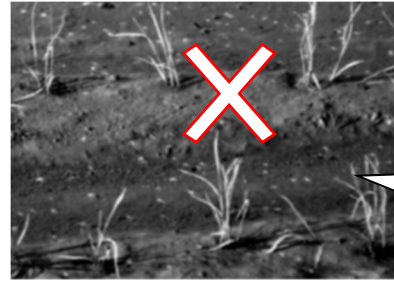
農業のために 地域のために 明日のために

JA共済の
地域貢献活動

©2017 JA-KYOSAI

【田植後の水管理】

- ・ 苗を保護するため、田植後3日間程度は稲が水没しない程度の深水管理としましょう。
- ・ 分げつと発根を促すため、活着後は日中止水で3cm程度の浅水管理としましょう。



干らし厳禁！

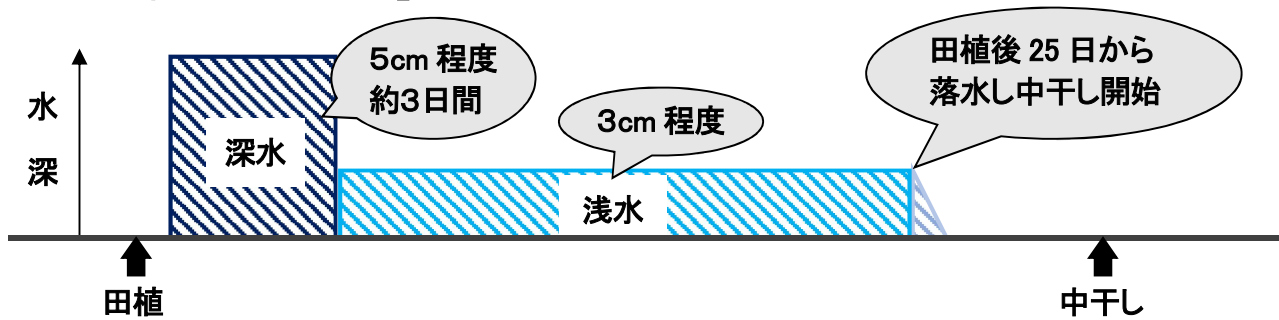
苗が植え傷むと、除草剤の葉害を受けやすく初期分げつの発生が悪くなります。

※田植同時で除草剤を散布する場合、田植作業時から水尻に板をあて、落水やかけ流しをしないよう注意。

- ・ 発根を促進し無駄な茎を整理するため、本格的な梅雨の前に遅れず中干しを開始しましょう。

【目安】	「てんたかく」	田植後30日後から
	「コシヒカリ」「富富富」	田植後25日後から

【コシヒカリ水管理のイメージ】



3 漏水がないことを確認し、除草剤は遅れずに散布しよう

- ・ 除草剤散布後に、かけ流しや落水、小動物による穴からの漏水、雨によるオーバーフロー等で田面水が流亡すると、有効成分が流出し、一時的な除草効果はみられたとしても、抑草期間が短くなります。
- ・ 有効成分が流出しないよう、散布後5日間は湛水状態を保ち、7日間は落水やかけ流しをしない「止水管理」とし、除草効果を高めましょう。
- ・ 中干し前に雑草の発生が確認されるほ場では、初期剤＋体系是正剤の組み合わせで抑草期間を長くしたり、田植同時ではなく田植1週間後に体系是正剤を散布することで抑草期間を後半に伸ばすといった対策をとりましょう。

- ① 初期剤は体系是正剤や中期剤との体系処理を行いましょ。

初期剤名	使用時期のめやす
マーシット1扣粒剤	移植時～移植後4日（ノビエ1.0Lまで）
かねつぐ1扣粒剤	移植時～移植後6日（ノビエ1.5Lまで）

※散布適期：
使用時期は、最適な散布期間を示したものです。除草剤で心配な点があればJAまで相談して下さい。

- ② 残草に応じて中後期剤を散布しましょう。

体系是正剤名	使用時期のめやす
カチボシ1扣粒剤	移植時～移植後10日（ノビエ2.5Lまで）
デオーレ1扣粒剤	移植時～移植後12日（ノビエ3.0Lまで）
エンペラー1扣粒剤	移植時～移植後12日（ノビエ3.0Lまで）
ボデーガードプロ1扣粒剤	移植時～移植後15日（ノビエ3.5Lまで）

4) 「富富富」

除草剤は「富富富」オールインワンBOOK 5ページをご参照ください。

※本年もイナゴ用に殺虫剤が1剤入りますので、殺虫殺菌剤と合わせて12成分以内に抑えるよう注意願います。

農作業安全のポイント ◇ トラクタや田植機からの転倒、転落防止のため、作業前に路肩や進入路の状況を確認し、安全対策（草刈り等）を講じましょう。